桜並木

佐世保市立早岐中学校
学校だより２１号
令和３年１１月２６日
校長　梛尾　吉嗣

学校教育目標：「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」

校訓：友愛「人を愛し、自然を愛する生徒（徳）」　創造「自ら学び、考え、創り出す生徒（知）」
健康「心身を鍛え、明るく活動する生徒（体）」

努力項目：「意気に感じる！」「素直であれ」

生徒会スローガン：「笑和前進　～輝く未来へ一歩ずつ～」

満喫しました『文化の秋』

さる11月19日（金）、第1学年の「総合的な学習の時間」の一環として、佐世保市教育委員会『ふるさと歴史発見』事業を行いました。佐世保史談会の先生方を講師として各コースに付いていただき、市内南部地区を6コース（史跡、歴史建造物、古い町並みなど）に分かれて、私たちが暮らす**“ふるさと”**について学習を深めました。当日は秋晴れの天気で、校外での活動は午前中でしたが野外宿泊活動に続き天候も味方してくれました。午後からは学習したことを新聞にまとめる作業を行いましたが、念入りな準備やわかりやすい説明など佐世保史談会の皆さんには感謝しかありません。多くの方々の支えや応援によって経験を重ね、生徒たちの学びはさらに深いものとなります。今回も説明を聞く態度、学ぶ姿勢を褒めていただきました。学校教育目標である**「我が早岐（ふるさと）を誇りに思う生徒の育成」**に近づける取組になっていればこんなにうれしいことはありません。

同じく11月19日（金）は、 第16回長崎県中学校総合文化祭東彼杵大会が東彼杵町総合会館で開催され、東彼杵郡内の中学生が観客となり、各校の演奏や演技を鑑賞しました。本校の演劇部も出場しました。本格的なホールの音響や照明は演技をさらにグレードの高いものに引き立ててくれます。11月2日（火）の文化発表会においては全校生徒の前での公演でしたが、今回は川棚中学校3年生の前での公演でした。観客の皆さんが食い入るようにステージ上を見つめ、物語に引き込まれている姿が印象的でした。公演後も多くの方々から、「良かったねぇ」「素晴らしかったよ」とお褒めの言葉をいただきました。写真は前日のリハーサル風景です。ここまでの取組に対してのやり切った達成感、満足感については、公演後の部員たちの笑顔がすべてを物語っていました。また一つ頑張る姿、認められる姿を目の当たりにすることができました。関わる者として何よりもの喜びです。

伝統は脈々と引き継がれていきます。

本日11月26日（金）は、生徒会役員選挙です。中学生の時期は、たった1年という短い期間においても、体格はもちろんのこと顔つき、考え方、所作などいたる所に生徒たちの成長を大きく実感します。今年の3年生も昨年の今頃、同じように先輩たちから生徒会を引き継ぎました。当初は初々しさを感じましたが、任期が終わる最近は、全校集会などでも自信に満ちた言動でリーダーシップを発揮し、貫禄すら感じます。そんな先輩たちの姿に憧れ、後を継ごうという後輩たちが今年も多数立候補してくれました。　そんな仲間のやる気を意気に感じ、全校生徒でさらなる高みを目指しましょう！！

※鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。